

清水の子



『未来を創造する
清水の子の育成』

- ◇学びを広げる子
- ◇思いやりあふれる子
- ◇たくましさみなぎる子

TEL 33-7285

Eメール simizu-es1@city.tomakomai.hokkaido.jp
第 12 号 平成 29 年 3 月 24 日発行

卒業おめでとう



6年生とのトイレ掃除

校長 一谷 浩之

3月22日に举行された本校の第52回卒業証書授与式。多くの御来賓をお迎えし、また多くの保護者の皆様の見守りの中、49名の6年生は立派に卒業していきました。卒業生は担任の呼名に対し自信を持った大きな声での返事が立派でした。一人一人ステージの上に立ち、自分の将来の夢を宣言する堂々とした姿も頼もしかったです。

来賓の方からは「全校での合唱がすばらしい。」「長い式なのに低学年が行儀よく参加できていた」などお褒めの言葉も頂きました。実は私もそう思いますし、卒業証書を私から受け取る時の卒業生の眼に圧倒されました。礼儀正しい態度はもちろんすばらしいのですが、私と目を合わせる時の眼力が、最後の授業である卒業式にかけの意気込みを表していました。見事、有終の美を飾った卒業生の中学校生活をみんなで期待しましょう。

この1年間、私は6年生と一緒にトイレ掃除をやってきました。6年生と共に取り組んだのは、掃除中一切の私語を慎む「無言清掃」です。初めはなかなか成功することはありませんでしたが3学期に入り、見事にやり遂げることができるようになりました。今すべきトイレ掃除に集中する。ただこのトイレを使う人のことだけを考えて仕事をする。そんな仕事をする6年生の姿が頼もしく誇らしく思っていました。一度成功して褒められると、もう失敗することはなくなりました。全て自分達の意識で掃除に集中して取り組んでいるのです。まさしく「自信」です。成功のパターンを自分のものにした姿です。そして、子ども達に掃除の感想を聞くと「トイレ掃除が面白くなってきた」と答えるのです。ここまで来れば本物です。トイレ掃除は楽しい仕事ではありません。できれば避けて通りたい気持ちは誰でもあります。だけど仕事に集中して無心で取り組むことによって、トイレ掃除の本物の価値を見いだすことができた者だけが「楽しい」と心から言えるのです。

世の中の多くのことは最初から楽しいと思えることは少ないのです。すぐ楽しいと思えることは、だいたいすぐ飽きます。本物ではないからです。本当の楽しさは努力に裏付けされた困難の克服の後にわかるものなのです。これが本物です。

卒業生がこれからの人生でいくつの本物を探し当てるか。期待します。見守りましょう。

